

## コラム④ スポーツの体験

東京 2020 オリンピック・パラリンピックはスポーツの持つ力を改めて感じさせてくれました。一方、令和 3 年 12 月にスポーツ庁が公表した、令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、体力合計点は、前回調査（令和元年度）と比べ、小学 5 年生、中学 2 年生の男女ともに低下しました。子どもの体力向上のためには、体育授業の取組みや、幼児期からの運動習慣の形成が重要です。区は、スポーツを通じて区民が豊かで健康的な生活を営むことを願い、平成 24 年にスポーツ健康都市宣言を行いました。大森ふるさとの浜辺公園を中心とした、大森スポーツセンター、大田スタジアム、森ヶ崎公園、大田区総合体育館に囲まれたエリア「新スポーツ健康ゾーン」を中心に、スポーツ環境の整備に取り組んでおり、大森ふるさとの浜辺公園では「する」スポーツとして、ビーチスポーツの体験などができます。

また、区では「する」スポーツだけでなく、「みる」スポーツも推進しており、アースフレンズ東京Z（Bリーグ所属）や東京羽田ヴィッキーズ（Wリーグ所属）の本格的なバスケットボールなどの観戦が身近な地域で楽しめます。「する」スポーツ、「みる」スポーツの楽しさは子どもの体力づくりといきいきとした心を育み、子どもが豊かで健康的な生活を送ることが期待できます。



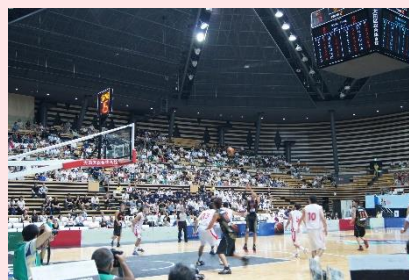
ビーチヨガ教室



区民スポーツまつり「ポッチャ体験会」



ビーチバレー場無料開放 DAY



大田区総合体育館で開催された  
バスケットボールの試合